

【在校生徒数】

《誠実で知性に富み、活力あふれる生徒の育成》～人を大切にする教育を通して～
未来（とおく）をみつめて現在（いま）を生きる！

1年生 230名
2年生 232名
3年生 223名

部活動の地域移行が進められています

新年度がスタートして1ヶ月が過ぎました。季節は春から初夏へと進み、木々の青葉も目に眩しい鮮やかな色合いになっています。4月は様々な行事があり、大変目まぐるしい毎日でしたが、多くの生徒がそれら一つ一つの行事に真剣に取り組み、行事の中心となって活躍してくれたことを大変うれしく思います。

部活動では、1年生が部活動見学、仮入部期間を経て、正式入部の時期を迎えています。各部の新体制が整い、いよいよ総体やコンクールが目前に迫ってきました。3年生にとっては、最後の大会となりますので、この大会にかける思いは強く、練習にも気合いが入り、いい意味での緊張感が感じられます。

そのような中で、今、部活動は「地域移行」に向けて、大きな変革の時期を迎えています。これまで、学校が主体となって行ってきた部活動を、地域主体の活動として見直して行くこととするものです。部活動は、生徒にとっても教師にとっても、中学校の生活の中で大きなウエイトを占めてきたものですから、これを地域の活動に移行することは大きな変革となります。現在、県中学校体育連盟や市教育委員会を中心に、急ピッチで準備が進められています。

この事を受けて、茨城県では、本年度から県中学校体育連盟に承認を受けたクラブチームが、総体や新人戦に出場できるようになりました。本校でも、いくつかのクラブチームから参加報告をいただいています。もし、承認を受けたクラブチームがあれば、生徒は、大会に参加するに当たり、勝田一中の選手として参加するか、地域クラブチームの選手として参加するか選択することになります。一人一人のニーズに応じて、自分の可能性を最大限に伸ばすチャンスとして、この制度は今後も推進されていきます。

しかしながら、現在、県内の中学校において、「今まで、一緒に練習してきた仲間が、大会で対戦することになるかもしれない。」
「もし、クラブチームで大会に参加する生徒が、平日は学校の部活動で練習したいと言ったら一緒に練習するの？チームの手の内がわかってしまう。」
「もし、クラブチームに移る人がたくさんいて、学校のチームの人数が足りなくなったらどうするの？」
というような、戸惑いの声が上がっていることも事実です。

様々な思いがある中で、お互いの気持ちを理解し、よりよい道を探していくことが大切になります。本校では、クラブチームに登録した生徒が学校の部活動の練習に参加する事や、市総体壮行会への参加の仕方等について、それぞれの気持ちに寄り添いながら、最善の道に進めるよう支援していきます。一人一人が自分の意思で決めたことを尊重し、本校の大切な生徒として、精一杯応援します。

WBCで世界一をかけて全力で戦い、お互いを称え合い、戦いが終われば、また同じチームメイトとして仲良く力を合わせている大谷選手とトラウト選手のように、勝田一中のみなさんにも、スポーツマンシップにあふれる、素晴らしい仲間であってほしいと思います。

勝田一中は「人を大切にする学校」という目標のもと、がんばる生徒たちを全力で応援します。
校長 佐藤 悦雄

令和5年度 部活動顧問です どうぞよろしくお願いいたします。

部活動	顧問	部活動	顧問
陸上(男女)		サッカー	
軟式野球		女子ソフトボール	
男子バス		体操(男女)	
女子バス		剣道(男女)	
男子バレー		柔道(男女)	
女子バレー		吹奏楽	
男子ソフトテニス		美術	
女子ソフトテニス		コーラス	
男子卓球		水泳(男女)	
女子卓球			



【お知らせ】 新型コロナウイルス感染症 ～法上分類5類以降について～

令和5年5月8日以降における学校の対応について、5月1日付けでひたちなか市教育委員会から市メールでお知らせしてあります。本校でも、この通知及び国や県のガイドライン等に基づき、基本的な感染症予防対策を講じつつ、次の通り対応いたします。

- 1 マスクの着用は求めません。（但し、感染状況によってはマスクの着用を推奨する場合があります。）
- 2 毎日の検温報告は必要ありません。（但し、今後の感染状況によっては、再び検温報告をお願いする場合があります。）
- 3 発熱等の症状が見られる生徒は、早退をお願いする場合があります。
- 4 給食は、黙食解除となります。会食の形態については今後の感染状況を確認しながら、グループでの会食に移行していく方向です。
- 5 出席停止について
 - 感染者は、発症日を0日として翌日から5日が経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまでの期間を出席停止とします。
 - 濃厚接触者の特定はしないため、濃厚接触者としての出席停止は行いません。
 - 合理的な理由により、感染不安で学校を休んだ場合は、引き続き「校長が出席しなくてもよいと認めた日（出席停止）」として扱うことが可能です。くわしくは、学級担任までご相談ください。その場合には生徒にオンライン指導等を実施し、学習の機会を確保します。